

月刊

# 地域保健



●特集

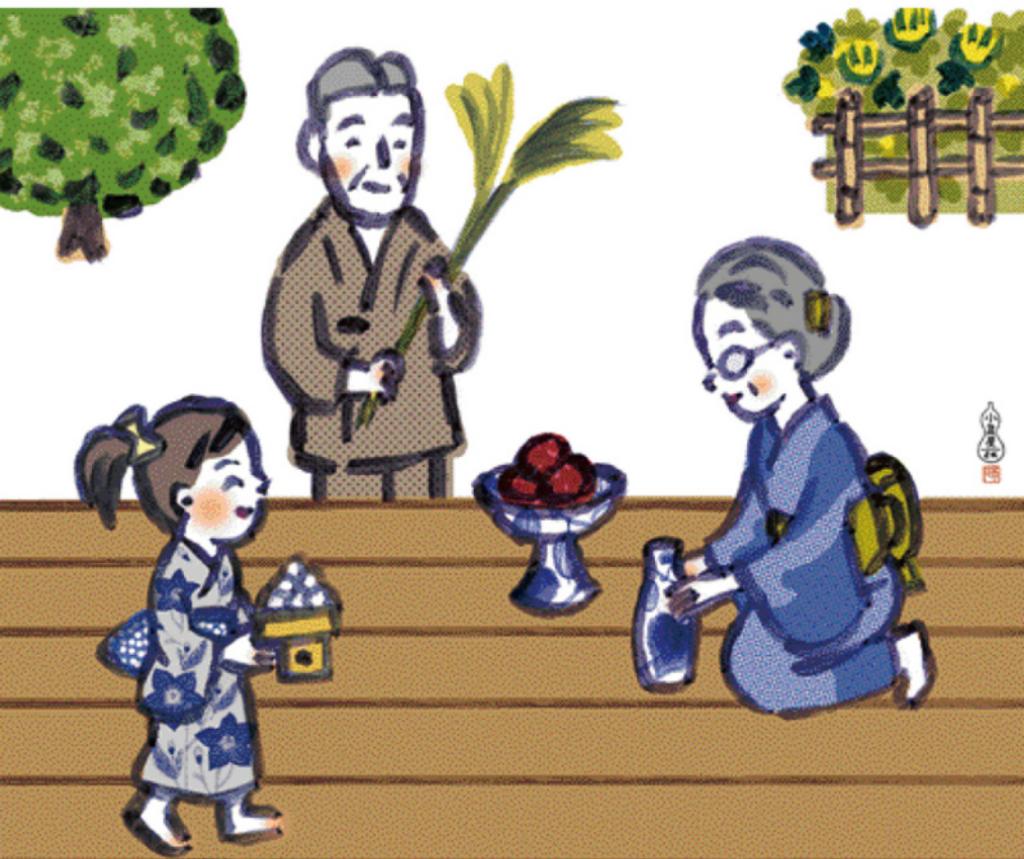
## 政策形成能力を高める

●フロントランナー

帯刀敦美さん 〈長野市保健所 保健主幹〉

●ピープル

熊谷晋一郎さん 〈東京大学先端科学研究所センター特任講師〉



# 帯刀 敦美 さん

● 長野市保健所 健康課 保健主幹



新設保健所のフロントランナーとして  
保健師の資質向上、医療管理、地域保健体制の整備に活躍

長野県長野市

全国の保健所設置市の数は69あり、年々増加している（2012年4月末現在）。今回のフロントランナー、長野市の帯刀敦美さんは、設立後間もない市の保健所で、それまでバラバラだった保健師の研修や医療監視（保健師領域）の方法などを見直し、整備し、保健所の基盤を築いてきた。

慣れ親しんだ地区活動から保健所の基盤づくりの仕事へ。保健師20年目にての大転換は並々ならぬ労力を要したらしい。帯刀さんの言葉を借りれば「それまでの保健師活動は、いかに平穏な日々だったか……」。少し長くなるが、その「平穏な日々」から振り返ることにしよう。

## 恵まれた長野の地で

帯刀さんが保健師を目指したのは高校3年生のとき。知り合いに県の保健

井支所市民課に配属され、親子ほど年の違う2人の大先輩の指導の下で健診、訪問、健康教室など、保健師としての基礎的な仕事をこなした。

「新生児訪問も妊婦訪問もやりましたし、当時は自転車を漕いで地区探訪に出かけていました。保健補導員という健康づくりをする住民組織が地区ごとにあって、健康講話とか血压測定の要請がひっきりなしに来ました。それで地区へ出向いて血压を測つたり、お話をしたり、地区活動に明け暮れていたのです。自転車で回っていると、お母

さんがいたことと、父親から「これから時代は女性も手に職を」とアドバイスされた影響が大きい」という。当時、看護専門学校には身長制限があつたことから、東京の聖路加看護大学へと進んだ。

卒業後に地元の長野市に就職。篠ノ井支所市民課に配属され、親子ほど年の違う2人の大先輩の指導の下で健診、訪問、健康教室など、保健師としての基礎的な仕事をこなした。

保健補導員の発祥地でもある長野県は早くから保健活動が充実しており、帯刀さんが新人のころには、保健補導員をはじめ、区長会、民生委員会、保健補導委員会、食生活改善推進委員会などのさまざまな地区組織が整備されていた。懇親会などで委員たちと交流を深めることができたし、地域のことでも分からぬことがあれば彼らに聞くこともできた。新人がいきなり地域の中に飛び込んで、それをサポートしてくれる環境が整っていたのである。

支所の中には税務や福祉関係の部署もあり、いろいろな職種の人人がいたた

住民と接する中で健康課題を見出し、施策に反映させる役割を期待される保健師にとって、政策形成能力は欠かすことのできない重要な能力である。しかし、政策を事業や施策と混同するなど、政策形成という言葉に対する理解は必ずしも一定していない。

特集では、政策・施策・事業という言葉の整理からはじめ、保健師の政策形成能力とは何かを明らかにするとともに、それを高める手立てを探った。また、保健師の政策形成能力を測るスケールを紹介した。座談会では現場の保健師たちに日々の活動の中において政策形成能力の向上をいかに図っているかを語ってもらった。

## P47 行政における政策形成能力とは

◎同志社大学政策学部 真山達志



## P54 保健師の政策形成能力とは

◎北海道大学大学院保健科学研究院 平野美千代、佐伯和子



## P60 政策形成能力の自己評価スケールの活用

◎兵庫県立大学看護学部 塩見美抄



◆ 特 集 ◆

# 政策形成能力を 高める

## 《座談会》

### P24 保健師の政策形成能力を高めるために



熊谷多美子  
(滝沢村)



山中八寿子  
(鳥取市)



安齋由貴子  
(宮城大学)  
(司会)

# スポーツ万能、元気で明るい 体育会系

ただいま、健康弱者や母親への寄り添いを習得中！

むらさき さちよ  
**村崎祥世さん**

立山町健康福祉課健康係



▲名所、芦嶋寺（あしくらじ）の布橋にて



文・写真 西内義雄（医療・保健ジャーナリスト）

「ぜひ立山のきれいな景色を撮つてくれださい！」

取材日を決めるやり取りの段階から町のPRに力が入っていた今回のひよこさんは、生まれも育ちも地元立山町の村崎祥世さん。2010（平成22）年度採用の24歳。メールのやり取りをしている段階から、筆者の魚＆お酒好きを知ると、その情報までしつかり調べてくれる。せっかく来るのなら、ぜひ立山を、富山を楽しんでほしいとの郷土愛がグイグイ伝わってきた。

しかも、所属する保健センターを訪ねると、すぐに満面の笑みで迎え入れてくれる。なんだか以前から知り合ったような気持ちになれたのは、村崎さんの明るさのおかげだろう。保健師の上司でセンター長もある前田かづらさんから「ウチの村崎をぜひよろしく！」と力の入った紹介もあり、とてもかわいがられている人材であることを分かった。

水泳、カヌーは全国クラス

子どものころの村崎さんは一人っ子で、とても甘えん坊。人見知りするタイプだった。最初に思い描いた将来の夢は、水泳の選手！

「人見知りを直すため、小1のときからスクイミングクラブに通いました。楽しくて熱中していたので、オリンピックを目指すここまで夢見ていました」

\*県大会で優勝するほどの実力だったようだ。

しかし、水泳は中学1年で辞め、カヌー部に転部してしまう。せっかくの才能がもつたいないと思いつか、実はこちらでもメキメキ頭角を現し、4人乗り全国2位の成績を残している。

高校受験を控えると、部の仲間たちは当然のことながらカヌーの強い高校の体育科を選ぶ傾向にあった。村崎さんは当然お説教があつたはずだが、「その後の進学のことを考えると体育専門で行くのはちょっと」と近隣の普通科高校に進学。大学進学も視野に入れての選択だった。ちなみに高校では水から陸に上がり（笑）弓道部に所属している。

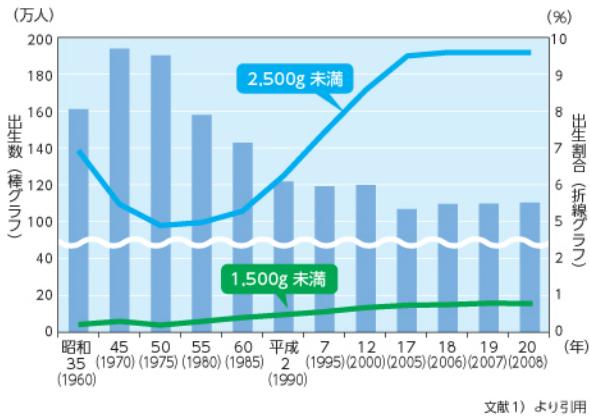
「アニメの影響と胴着の格好良さ。あと、弓道なら勉強とも両立しやすそうと思ったのです」

中学までスポーツに熱中していたけど、今までスポーツに熱中していただけ



▲弓道は今も趣味として楽しむ

図1 低出生体重児（2,500 g未満）の出生数および出生割合の推移



自信が持てなかつたり、友達となじみにくいなどの問題が起ることも考えられています。低身長症は体质性のもの、病気によるものなど原因はさまざまです。

図2 出生体重と在胎期間による分類



文献2)より引用

低身長の中には治療により標準的な身長に近づけることができる場合があります。その一つがSGA (small-for-gestational-age) 性低身長症です。出生時の体重および身長がともに在胎週

数の10パーセンタイル未満で、かつ出生の体重または身長のどちらかが、在胎週数相当のマイナス2SD未満である児をSGA児と呼びます<sup>3)</sup>。SGA児は、出生後急速に身長が伸び、90%近くは3歳までに正常範囲内の身長まで追いつく(キヤツチアップする)といわれていますが、残りの10%のSGA児は3歳児、5歳児になつてもキヤツチアップしないことが報告されています<sup>3)</sup>。このように、2歳以後も身長がキヤツチアップしない児をSGA性低身長症と呼びます。

SGA性低身長症は、治療条件を満たせば成長ホルモンによる治療が適用されますが、治療の効果は、開始時期に影響さ

## SGA性低身長症の早期発見・早期治療のために



河井 昌彦先生 ◆京都大学医学部附属病院 准教授  
木崎 善郎先生 ◆京都第一赤十字病院 部長  
徳弘由美子先生 ◆京都市保健福祉局伏見区深草支所 健康づくり推進室 担当係長

お話を聞いた先生

わが国の新生児・乳児死亡率は世界的にみても非常に低く、トップレベルの医療水準を維持しています。その一方で、出生数は減少の一途をたどり、出生体重が2500g未満の低出生体重児が増加しています(図1)。低出生体重児とは、在胎週数に関係なく出生体重によって規定され(図2)、早産児(在胎22~37週未満で出生)に限らず、正期産の低出生体重児も増加傾向にあります。この要因はさまざまですが、一つには母体の妊娠期の低栄養が抑制され、成長障害をはじめ、出生後から成人期に至るまで問題を抱えることがあります。

その中でも低身長は、就学後、まりの児童より背が低いことから自分に

SGA性低身長症とは